

担当理事：塩飽 仁

副担当理事：大賀正一

委員長：小川純子

副委員長：余谷暢之

委員：竹之内直子，富岡晶子，佐藤伊織，天野功二，上別府圭子（オブザーバー）

本委員会は子供と家族のケアの質向上を目指して、日本小児がん看護学会等の関連団体と連携しつつ活動を行っている。

## 活動報告

- 1) 委員会を、2021 年 5 月 8 日、7 月 31 日、9 月 4 日、10 月 9 日に開催した。12 月 11 日に 5 回目を開催予定である。
- 2) JSPON の「小児がん看護師」に関して、テキスト執筆と e ラーニング制作、認定に協力した。看護委員会をはじめ、JSPHO の先生方にも多大なご協力をいただいた。2021 年度にも「小児がん看護師」が認定される予定であり、テキストが間もなく発刊される見通しであると JSPON から報告があった。
- 3) 前委員会で企画し実施した医師・看護師・家族対象の全国調査が終了し、第 63 回日本小児血液・がん学会学術集会および第 19 回日本小児がん看護学会学術集会に、以下の 4 つの演題を発表登録した。
  - [入院中の小児がん患者の食事管理に対する医師と看護師の認識の差異]
  - [入院中の小児がん患者のケアの実態-看護師の認識から-]
  - [入院中の小児がん患者のケアに関する課題-看護師の認識から-]
  - [家族の代理評価による小児がんの子供へのケアの満足度と背景因子]
- 4) 「地域における小児がんの子どもの緩和ケアの充実」を目指して、パンフレットを作成することにした。プロットが決定し、執筆中である。
- 5) 天野委員が、今期学術集会で開催される 2 学会合同シンポジウム：生きることを支えていくためのエンド・オブ・ライフケアの座長を務めることになった。

## 今後の活動計画

以下の課題について、今後検討する予定である。

- 1) 「地域における小児がんの子どもの緩和ケアの充実」に向け、パンフレットの作成と配布、地域の訪問診療や訪問看護向けの研修会や、成人領域との協働などを検討する。
- 2) 学術集会で発表する医師・看護師・家族対象の全国調査の結果を、順次論文発表していく。